

北海道社会学会ニュース

H. S. A. NEWSLETTER

発行：北海道社会学会事務局
〒074-8585 北海道深川市メム4558
拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科 工藤研究室
Email：hsa.sociology@gmail.com
http://www.hsa-sociology.org/ 郵便振替口座：02760-3-3085

HOKKAIDO SOCIOLOGICAL ASSOCIATION
Haruka KUDO
Takushoku University Hokkaido College,
Memu 4558, Fukagawa, Hokkaido, 074-8585 JAPAN

編集責任者：工藤遥（庶務理事） 拓殖大学北海道短期大学農学ビジネス学科 kudo@takushoku-hc.ac.jp
〒074-8585 北海道深川市メム4558 TEL：0164-23-4111（代）

第70回 北海道社会学会大会について

6月11日（土）のオンライン大会は、Zoom会議を使用し、北海道大学が大会運営を担当いたします。

会員、非会員ともに参加は無料です。プログラムは別紙1をご覧ください。報告要旨集は近日中に、学会HPへ掲載いたします。

【大会への参加方法および注意事項について】

- ①大会前日の6月10日（金）に、大会専用URLを会員に一斉メールで送信いたします。
- ②メールアドレスを登録していない会員の方は、学会事務局（hsa.sociology@gmail.com）までお知らせください。
- ③参加マニュアルは、大会2週間前を目途に学会HPに掲載いたします。
- ④非会員の参加は、会員からの紹介制とします。非会員の参加を予定されている場合は、事前に学会事務局（hsa.sociology@gmail.com）までご連絡ください。
- ⑤当日は、開会20分前の9時30分からZoomへの入室（受付）をいたします。
- ⑥当日は、会員確認をZoomの表示名で行いますので、表示名を「名前（所属）」に設定してください。
*ご自分の画面右上の「・・・」を開くと、<名前の変更>という項目があります。
- ⑦聴講者は、ハウリング防止のためマイクOFF（ミュート）の状態入室してください。
- ⑧発表等の録音・録画は行わないでください。

【Zoom懇親会のご案内】

*大会終了後にZoom懇親会を開き、皆様との交流機会にしたいと思います。新入会員のご紹介もいたしますので、ご参加をお待ち申し上げます。

*オンライン大会の実施ですので、当日は不測の事態が生じる可能性もあります。ご参加の皆様には柔軟なご対応をよろしくお願い申し上げます。

【大会についてのお問い合わせ先】

上山浩次郎（北海道大学）
ueyama.kojiro@edu.hokudai.ac.jp
TEL. 011-706-3093

会員異動（2022年4月まで）

[略]

【重要】会費の納入について

年度が改まりましたので、2022年度分の年会費を同封の郵便振替用紙で納入くださいますよう、お願いいたします。なお、2022年度の年会費を既に納入されている会員は結構です。

[郵便振替口座 02760-3-3085 北海道社会学会]
年会費 一般会員 6,000円
学生・院生会員 4,000円

過年度分で未納がある会員は、あわせてお振り込みください。

2022年度会費を納入された方には、機関誌第35巻（2022年6月発行予定）が郵送されます。できるだけ早めに、遅くとも6月中に会費を納入してください。なお、事務局体制上の都合により、発送まで1か月以上お時間をいただくことがございます。ご理解のほど、よろしくお願いいたします。また、未納の会員には、会費完納を確認し次第、後日郵送いたします。

会費を5年間滞納されると、自然退会の扱いとなります。ご注意ください。

会員情報の更新について

住所や所属が変更になったときは、遅滞なくメールで学会事務局 (hsa.sociology@gmail.com) までお知らせください。その際、e-mail アドレスもお忘れなくご登録ください。ご協力をお願いいたします。

メールアドレスの登録について

年3回分の学会ニュースはメールでのみお送りしています（電子メールを使用していない会員には、すべてのニュースを郵送しています）。届いていない方がいらっしゃいましたら、お手数ですが学会事務局 (hsa.sociology@gmail.com) までご連絡をお願いいたします。

別紙1

第70回北海道社会学会大会（オンライン大会）プログラム

開催日： 2022年6月11日（土）
 会場： 北海道大学（オンライン実施・Zoomホスト校）

9:30～ 受付開始（Zoom会議への入室）

9:50 開会の辞 北海道社会学会会長 大國 充彦（札幌学院大学）
 開催校挨拶 大会実行委員長 上山 浩次郎（北海道大学）

一般研究報告 部会Ⅰ (報告20分+質疑応答10分)
 10:00-11:30 司会 小内 純子（札幌学院大学）

1. 「働き方改革」下の道内公立学校における人材育成と学校づくり
 高島 裕美（名寄市立大学）
2. 「香港・マカオ高齢者の越境移住とUターン—中国本土の「社会保障の壁」をどう乗り越えるのか—」
 羅 欣寧（北海道大学大学院文学院）
3. 「人口減少社会におけるソーシャル・キャピタルの維持と創成
 —北海道における地域除雪を事例として—」
 三田 絵里加（北海道大学大学院文学院）

11:30-12:30 昼休憩 11:30-12:30 理事会

一般研究報告 部会Ⅱ (報告20分+質疑応答10分)
 12:30-14:00 司会 田島 忠篤（モラロジー道德教育財団 道德科学研究所）

1. 「社会言語学と社会学の人種主義的親和性—黒人言語学を事例として—」
 源 邦彦（玉川大学）
2. 「映画『ジョバンニの島』の表象研究」
 高橋 誠（北海道大学国際広報メディア・観光学院）
3. 「中国の都市化における村落社会と民間信仰—山西省太原市の城中村を例に—」
 段 玉（北海道大学大学院文学院）

14:10-15:50 シンポジウム**テーマ「コロナ禍以降の社会学研究・教育」**

座長 新藤 慶 (群馬大学)

趣旨説明 研究活動委員長 品川 ひろみ (札幌国際大学)

第1報告「オンライン授業は悪なのか」

山本 堅一 (北海道大学)

第2報告「コロナ禍以降の調査研究と教育実践の課題と展開可能性

—コミュニティ実践の調査から— 松宮 朝 (愛知県立大学)

第3報告「無作為抽出者を対象としたミクストモード調査におけるモード効果

—ウェブ法と郵送法の比較から— 平沢 和司 (北海道大学)

質疑応答・全体討議 (フロア)

16:00-16:50 総会**16:50 閉会の辞**

北海道社会学会会長 大國 充彦 (札幌学院大学)

17:00~ オンライン懇親会 新入会員のご紹介**シンポジウム 「コロナ禍以降の社会学研究・教育」 14:10-15:50****【趣旨説明】**

2020年、新型コロナウイルス感染拡大は、我々の生活を大きく変えた。なかでも研究活動や教育は、感染状況によって変わる国や自治体の方針に否応なく対応せざるを得なかった。研究においては、調査の延期や中止、場合によっては方法を変更することが余儀なくされた。教育では、ごく当たり前に行われた対面授業ができなくなり、フェイスツーフェイスの交流が難しくなった。それに替わり遠隔授業が準備期間も十分でないなかでスタートした。当初は1年も辛抱すれば平常に戻るに違いないと、期待をこめた予測は呆気なく外れ、この状況の終わりは未だに見えない。世論の関心もこの現状のなかで如何に社会を維持していくかにシフトしている。

そこで第70回大会シンポジウムでは、コロナ禍以降の社会学研究や教育をテーマとしたい。コロナ禍3年目のいま、すでに多様な場でこれらのテーマは取り上げられている。ともすれば、新鮮さに欠ける印象を持たれるかもしれない。だが、3年目だからこそ、それぞれの経験に基づいて、現状と今後の課題を整理できるのではないか。

シンポジウムでは、教育や研究に豊富な経験を持つ方々にご登壇いただく。第1報告者の山本堅一氏(北海道大学高等教育推進機構)は、オンライン授業に焦点をあて、学習者本位の教育活動を行うためにもオンライン授業が有効であることを授業の実践例などを交えて報告いただく。第2報告の松宮朝氏(愛知県立大学教育福祉学部)は、高齢者、外国籍住民のコミュニティにかかわる実践の経験からコロナ禍における取組や、社会学教育に関する課題や新たな可能性について報告いただく。第3報告の平沢和司氏(北海道大学大学院文学研究院)は、社会調査のなかでも、現状のウェブ調査の課題について着目し、異なる調査モードによって生じる「モード間の差異」についての分析を報告いただく。

3報告のあとには、フロア(画面)の会員から意見をいただき、コロナ禍以降の、社会学研究、教育について議論を深めたい。
(研究活動委員長 品川)